

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	高知工科大学	整理番号	1-2-117
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	学生の多様化に対応した実践的技術者の育成 ～生徒から学生、そして社会人への成長をサポート～		
申請単位	学部単位		
申請担当者	坂本 明雄		
(取組の概要) 本取組は、多様な学力・能力・学習意欲をもつ新入生を受け入れ、受動的な「生徒」から主体性をもつ「学生」への成長を支援し、長所を生かした教育により「実践的技術者」に育て上げる教育課程を構築し、実施と改善のサイクルを繰り返しながら進化させていくものである。特に「生徒」から「学生」への成長をサポートする科目として、少人数で実施する新入生導入教育『スタディスキルズ』と、徹底した習熟度別クラス編成を可能にした『数学』教育のカリキュラムはこの取組を象徴する具体例である。この二つは平成 15 年度からの取組であるが、いずれも平成 9 年の開学以来続けてきた多様な学生に対応できる教育システムの導入教育および数学教育の実施状況を踏まえて進化してきた結果であり、実施・点検・改善のサイクルがうまく機能していることを示している。このような教育システムの結果として、卒業生の就職率も高水準を保っており、今後も前述の改善された教育課程にサポートされた学生たちの卒業後の活躍が期待できる。			
(採択理由) この取組は、高知工科大学の教育目標である「学生の多様化に対応した実践的技術者の育成～生徒から学生、そして社会人への成長をサポート～」を達成するために、既に 7 年以上にわたって組織的に実施され、スタディスキルズ受講による学生の主体性の向上、退学率の減少、学生の外部発表数の増加などに実証されるように大きな成果を挙げています。 この取組の「社会経験豊かな教育講師によるスタディスキルズ教育」は、社会の多様な要請に充分応える優れた先進性のある取組であると認められます。スタディスキルズ教育は、今後、学生の質の多様化が予想されること、直ちに戦力となる学生教育が望まれていること、基礎と応用の両面にわたる教育が不可欠となることなどから、多くの大学の参考になり得る優れた事例であると言えます。 また、この取り組みは、学生の動機付け教育としてのスタディスキルズからの脱皮という課題がありますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。			